



まなびい掲示板

▶ 読み聞かせ&映画会

と き 3月8日（土）
 と ころ 星野生活改善センター
 対 象 幼児、小学生と保護者
 内 容 絵本や児童書の読み聞かせと16ミリ映画の上映会

映画
 「田舎のねずみ」
 「さよならカバくん」
 「恐竜のリサイクル」



▶ 中高生リーダー研修会

と き 3月22日（土）～23日（日）
 と ころ 県北青少年の家
 （総合センターに9:00集合）
 対 象 中学校1年生から高校2年生
 内 容 講話「社会参加活動とは」
 ワークショップ
 テーマトーク「しゃべり場」
 ニュースポーツ体験
 参加費 1,500円（宿泊費、保険料等）
 持ち物 1日目の昼食、着替え、洗面用具、
 中履き、筆記用具、保険証の写し
 服 装 各学校指定の運動着
 申込方法 各学校を通じて教育委員会事務局
 にお申し込みください。

※お問い合わせは、生涯学習推進室
 （内線275）まで。



初めて入るイグルーで楽しく昼食をとる隊員たち

真冬の大自然を満喫
 わくわくふるさと探険隊

第四回わくわくふるさと探険隊は二月九日、くずまき高原牧場で行われました。参加した十七人の隊員たちは、澄みきった青空の下、「アニマルトラッキング」に挑戦しました。
 スノーシュー（西洋のかんじき）を履いて新雪が積もる広大な牧草地を散策すると、ウサギやキツネの足跡を発見。身近な自然で生き

る、普段はあまり目にするのではない野生動物の暮らしについて学びました。
 牧場内に設置されているイグルー（雪の塊で作る簡易住居）の中の昼食タイムでは、「雪の中って意外と温かい」という声が聞かれ、真冬の大自然の厳しさと楽しさについてたくさんの方の意見を一日となりました。

地域の輪 世代を超えて

西部地区民芸文化展は二月十一日、小屋瀬農村センターで開催され、約三百人の地区民が集いました。
 会場には、高齢者大学の創作活動で制作された作品のほか、保育園児や児童・生徒の絵画や工作、地域の方々の切り絵や炭を使った作品などが展示されました。また、たくさんの方々が参加して「ひつつみ」づくりが行われ、世代を超えて交流を深めました。
 午後からは、「身近な防災」と「後期高齢者医療制度」に関する講話に続き、西部地区高齢者大学修了式が行われ、学びの一年を締めくくりました。
 西部地区では、三年前から地区文化祭が開催されておらず、その復活のきっかけになればと開催された今回の文化展。実行委員長を務めた丸山由男さん（小屋瀬）は「このような行事で地区民が一堂に集えるのはうれしいこと。ぜひ、来年も開催したい」と話していました。



懐かしい写真なども展示されました



熱心に講話を聞く高齢者大学の受講生



昼食の「ひつつみ」づくりに挑戦した子どもたち

いきいき子育て ⑪ ～子どもたちの健やかな成長を伸ばす機会をつくろう～

子どもの健やかな成長には、大人の力を結集して地域で子どもたちをはぐくむことが大切です。そのためには、まず、親が「自分の子どもは自らの責任で健全に育てる」という決意を持つことが必要です。そして、子どもたちが安全に、スポーツや文化活動などの多彩な活動ができる居場所をつくっていく必要があります。

親自身も地域の大人として、地域ぐるみで子どもを育てていく姿勢を持ちましょう。そして、放課後や休日に多彩な活動ができる場づくりをすすめ、子どもたちと一緒にいろいろな活動に参加しましょう。



<参考 文部科学省「家庭教育手帳」>

俳句便り

ハイタケヨリ

第二十七回葛巻町子ども芸術展
 俳句の部金賞作品より

不如帰時を忘れて鳴きつづけ
 下村 大希（葛巻中一年）

朧月二匹の蝶が舞い上がる
 千葉 本気（葛巻中一年）

すすきのほ海原のように風吹いて
 村田あすか（江刈中一年）

元気でと頼撫でる風夏の果て
 阿部 恭佑（葛巻中二年）

妹にとんぼとまりて髪かざり
 緑川 愛望（葛巻中二年）

赤とんぼ青い空気を赤く染め
 上遠野亜理沙（江刈中二年）

遠くまで亡き人送るしゃぼん玉
 漆真下 緑（葛巻中三年）

燕さえ風を切りさき今をいく
 丹内 春喜（葛巻中三年）

色づきし落ち葉がしるす道しるべ
 漆真下陽一（江刈中三年）